

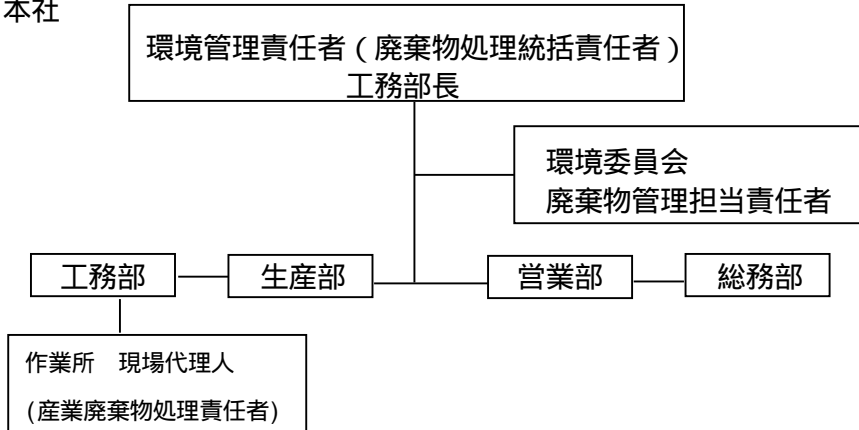
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 4月28日	
石川県知事	殿
提出者	
住所 石川県金沢市長田2丁目4番8号	
氏名 株式会社金沢舗道	
代表取締役 向井 健夫	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 076-223-4858	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 金沢舗道
事業場の所在地	金沢市長田2丁目4番8号
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	06 総合工事業
事業の規模	元請完成工事高(令和5年度実績) 7億円
従業員数	50人
産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・がれき類 自社工場及び再生処理業者に委託し、再生合材・再生砕石として再資源化。</li><li>・木くず 再生処理業者に委託し、木材チップとして再資源化。</li><li>・混合廃棄物 再生処理業者に委託して再資源化および埋立処分。</li></ul>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	2917.07 t	t
	(これまでに実施した取組) ・型枠、杭の繰り返し使用。 ・リサイクル製品の推進・利用。		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	排出量	2300 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・型枠、杭の繰り返し使用。 ・リサイクル製品の積極的な利用。		

産業廃棄物の分別に関する事項

現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類の確実な分別保管を実施。(保管スペースの確保) ・分別したものが混合しないように運搬。
計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類の確実な分別保管の徹底。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2065.39 t	
	（これまでに実施した取組） ・がれき類は自社プラントにて自己中間処理し、再生合材・再生砕石として再生利用。		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1650 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・がれき類は自社プラントにて自己中間処理し、再生合材・再生砕石として再生利用。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組） ・該当なし。			
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） ・該当なし。			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・これまで実施していない。		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今後の実施の予定は無い。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	851.68 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	76.89 t	t
	再生利用業者への処理委託量	851.68 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・処理業者と委託契約を結ぶにあたって、事前の現地調査(処理状況、維持管理状況、周辺状況) ・委託契約後の定期的な確認 ・マニフェストの徹底管理		

計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	680 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	60 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	680 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・電子マニフェストに対応可能な処理業者から選定 ・可能な限り優良認定処理業者から選定		
事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。



廃棄物の種類	全処理委託量									
			優良認定 処理業者への 処理委託量		再生利用 業者への 処理委託量		熱回収認定 業者への 処理委託量		熱回収認定業 者以外の熱回収 を行う業者への 処理委託量	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
がれき類(アスファルト・コンクリート破片)	841.39t	672t	76.89t	60t	841.39t	672t				
安定型建設混合廃棄物	1.54t	1t			1.54t	1t				
木くず	2.86t	2t			2.86t	2t				
廃プラスチック類	4.9t	4t			4.9t	4t				
汚泥	0.99t	1t			0.99t	1t				
合計	851.68t	680t	76.89t	60t	851.68t	680t				

**備考**

取扱う廃棄物の種類が3種以上の場合、処理計画書の種類の欄に「別紙のとおり」と記載し、この別紙に、廃棄物の種類ごとに排出量を記入してください。  
 なお、(これまでに実施した取組)、(今後実施する予定の取組)については、産業廃棄物処理計画書の各記入欄に記入してください。  
 この表の丸数字は、産業廃棄物処理計画実施状況報告書の第2面の図表の番号です。報告書を記入する際にご利用ください。